

きらり

今回は、池田町下東野に在住の地産地消をめざしてナスの生産農家としてガンバッておられる北村一見さんを紹介します。



ナス作りとの出会いは！

現役時代の休日は趣味の釣りをして楽しんでいましたが、定年を迎えて、毎日となると飽きてしまい、そんな時に先輩から『ナス』の栽培講習会の話しを聞き、父親や地域の先輩の話しを聞き、父の道具をもとに栽培を始めました。



子供達も楽しく「ナス」刈り教室

これから目標と夢は何ですか！

『いび川夏秋ナス』の歴史は20年以上あり、早起きは「3文の徳」の諺の通り健康のためにも栽培と収穫をして、消費者の方に喜んでもらいたい。『北村のナスは安心安全でおいしい』と評価してもらい、第2の人生を悔いのないように『ナス』の如く、無理、無駄がなく、太く長く楽しみながら『ナス』を作っていきたい。

編集後記

日本経済もアベノミクス効果で景気が少しずつ回復に向かっている今日この頃、また清流国体から1年が経過し、11月にはパドミントン日本リーグが開催され、池田町の魅力を全国にPRできることが期待されます。国体で得た「おもてなしの心」と「地域の絆」この2つのキーワードをこれからも、後世に受け継がれ「住んで良かった池田町」に町民の皆様と、いっしょになって、まちづくり活動を展開していきたいと思えます。私たちも、正しい情報を、できるだけわかりやすくお知らせできる様、委員一同、努力を重ねてまいります。皆様のご意見をお待ちしております。

(議会広報編集委員 渡辺幸一)



大きく育った自慢の「ナス」